

☆み つ け☆

## 商工会通信 2012年9月

<http://www.mitsukey.or.jp/>

### 金融円滑化期限終了に向けた

### 金融相談・資金繰り支援の強化について

中小・小規模企業の資金繰りに大きな役割を果たしている中小企業金融円滑化法が、平成25年3月末に取扱い期限を迎えることとなっています。

全国商工会連合会では、中小企業金融円滑化法終了に向けて、日本政策金融公庫のセーフティーネット貸付など既存の金融支援制度の拡充のほか、新たな再生支援スキームの構築等を図るよう関係各方面に強力に要しているところです。

当会といたしましては、借替、条件変更等の相談に積極的に対応するとともに、マル経融資制度、専門家派遣事業、経営安定特別相談室等の活用による資金繰り支援の強化に努めてまいりますので、気軽にご相談ください。

### 9月の無料法律相談

法律問題でお困りの方、商工会の無料法律相談を利用してみませんか。

日時 9月28日(金) AM10:00~正午  
会場 見附商工会 1階相談室  
(事前に商工会に予約が必要です。)



### まちなか軽トラ市・ナイトバザールの開催について

今年度も、見附商工会商業部会では、まちなか賑わい検討委員会の答申に基づき、まちなかの賑わいを創出するため、本町商店街において軽トラ市を7月1日・8月5日・9月2日に開催いたしました。当日は、農産品の販売をはじめとて多くの方々が出店し、天候にも恵まれ多くの市民の方々が賑わいました。

また、8月25日にはナイトバザールが見附3商店街で開催され、夏を惜しむように親子連れで賑わいました。

軽トラ市は、引き続き10月21日に実施いたしますので、まちなかへ足を運んでいただきたいと思います。

### 商工貯蓄共済増口運動を展開

現在、商工会の重点事業である、商工貯蓄共済増口運動を展開しています。

(増口運動期間中の加入特典として、一口につき2,000円の還元を行ないます。)

又、貯蓄共済加入者は、人間ドック、健康診断等各種特典が受けられますので、別紙チラシを参考の上ご加入・増口をお願いします。



### 貯蓄共済パワーアップ



**期間中の新規・増口者に1口2,000円キャッシュバック**

### 技術開発懇談会の開催予定について

見附市・長岡技術科学大学では、同大学と地域社会との連携・交流を深め、より積極的な技術開発等の推進を図ることを目的として、技術開発懇談会を11月22日(木)午後5時から開催予定です。同大学の研究テーマの説明等、産学連携を深めるために開催されます。(後日詳しいご案内をさせていただきます。)

### 見附ニット秋まつり

### 飲食店等のチラシ掲載事業所募集

別紙参照

### 貯蓄共済のオススメ

### 健康診断のご案内

別紙参照

### 中小企業大学校

### 研修のご案内

別紙参照



MITSUKE KNIT

<http://www.mitsukeyknit.jp>

ホームページ参照

## 小規模企業振興委員だより

小規模企業振興委員  
若杉 則行

「思いもしなかった講演会で教えられました」

先日のこと、ある機会があって、講演を聴いてきました。教育、心理カウンセラーの富田富士也さんという方です。親子、家族関係が揺れる時代に、あふれるユーモアと味わい深い言葉で、現代の悩める家族に無縁ではなく、有縁の家族の絆を問いかける！「子供叱るな、きた路じゃ、年寄り笑うな往く路じゃ」、会場入りして大きな声でいきなり登場してきました。何か度肝を抜かれました。綾小路きみまろの漫談風に会場を笑わせながら、淡々と講演がはじまりました。また寅さん風のせりふでしんみりさせた後、短いメッセージを放って間を取ると、涙ぐむ人もいた。せめぎあって、折り合って、お互いさま、は昔から聞いたメッセージ。親子でも友達でも関係を築くのは難しいが、いろいろあっても気にしないでいいんだよ、という意味が込められている。人は晩節を生きている、生まれた瞬間から、いつ死ぬかわからない。だとしたら、妻に「ありがとう」といえるチャンスは今日が最後かもしれない。だんだんと引き込まれていった感じがした、話の中でこんな話があった、幼い頃から周りの子供たちと交わることが出来ず部屋にこもりがちな子供、親にするとうちの子はおとなしくて勉強が出来てとてもいい子だ 洋服も汚すこともないし親の言うこともよく聞く、これ危険信号の始まりとか、どちらかという親が子供を縛っているだけで子ども自身の気持ち、思い、考えにふたをしているだけなのに、親にとってはまさに手が届かず親にとって都合がいいだけで子供教育をしているに過ぎないのである。成長していってもどちらかという一人、こもりがちになりやすいそうだ。大人になったときにどう周りに溶け込んでいったらよいのかわからなくなってしまうとか、いつか爆発することがあったりするとか？まさしく生きる中でせめぎあって、折り合って、お互いさま、そんな気持ちで生きればよいのか？そんな話の中からある家族の実例での話がありました、その家族は先代がかなりの大規模な専業農家を営んでいたが、これからは農業では安定した生活を送れないと農業を継がず公務員を選択した。こどもは幼い頃、祖父母の農作業の手伝いをした事がとても印象に残っていたのだという。自分の子供を同じ公務員にとの願いを込めて子育てをしたそうです。しかし大学卒業後、就職もできずニート生活、それでも親は今そんなに驚くことではないと考えていたが、いつまでもそんなわけにも行かないと、あるとき親と子の話し合いとなったときに子供は親に初めて口答えをした。「誰がこんなにした、僕の気持ちも聞かないで……！」助けを求めて富田さんに事情を説明して相談。その後、親のカウンセラーから始まり子供のカウンセラーがなされた。その結果、子供は親が継承しなかった農業を継ぎたかったことを打ち明けて、自分が本当にしたいと思っていた農業に専念することとなったそうです。

最後になりますが、生きる中で大事なことはやはり何事も当たり前とおもわず、感謝の気持ちを持って、ありがとうございます、お願いします、助かりましたといえるように、日々、精進しなければならない。そして、せめぎあって、折り合って、お互いさまの精神で生きて行きたいと思いました。久々の心に響く講演でした。